



小林看護医療専門学校公式
Youtubeチャンネル
「小林看護 能登弁ラジオ体操～
能登の皆さん！能登弁と一緒に
ラジオ体操をしましょう！」

動画内で使われる能登弁は、1年生4人が中心
となって調べたもので、独学のためイントネー
ションが間違っているかもしれないと学生た
ち。被災地が落ち着いたら正しい発音などを能
登の人たちに教えてもらって動画の完成度を高
めたり、西諸弁ラジオ体操や小林市についても
知ってもらったりして、これをきっかけに交流
がさらに深まればうれしいと話しています。

「ラジオ体操第一は始めるに
元気のいい掛け声からはじまる
「能登弁ラジオ体操」。小林看護医
療専門学校1・2年生有志が出
演し、能登弁の掛け声にあわせて
体操する動画が、同校の公式Yo
uTubeチャンネルで公開され
ています。
能登半島の復興が思うように進
まない現状や、現地での健康被害

をニュースで目の当たりにし、「健
康を維持するために体を動かすこ
との重要性和、私たちが応援して
いることを伝えたい」と考えた学
生たち。
「西諸学」という科目で地域の方
言や食文化などを学んでいること
から方言に着目し、被災地の人々
に元気を出してもらうために、能
登弁を使ったご当地ラジオ体操の
制作に取り組みました。
学生たちの被災地への想いが込
められた「能登弁ラジオ体操」。動
画の最後は「被災者の皆様が元気
に、前向きに、ラジオ体操できま
すように」という言葉で締めくく
られています。

体を動かし健康を維持するきっかけにしてほしい コバの学生が「能登弁ラジオ体操」動画を制作



令和6年能登半島地震 つながる支援の輪

写真の大型書道作品は能登町役場に展示されてい
るもので、能登高校書道部員と顧問の皆さんが制
作。被災者でもある部員3人の復興・再生への
想いと全国からの支援に対する感謝が込められた
迫力ある作品で、訪れる人に元気を与えています。



災害義援金募金箱を設置しています

市では、被災地の復旧支援のため、能登
町への指定募金箱と能登半島を含む被災地
全体への募金箱を設置しています。

設置場所

市役所本庁舎／須木庁舎／野尻庁舎／西小
林出張所／紙屋出張所／中央公民館
※西小林出張所は被災地全体への募金箱
のみ設置しています

※2月15日現在の募金額

【能登町指定募金】 5,213,055 円

【能登半島地震募金】 463,747 円

令和6年1月1日に発生した
「令和6年能登半島地震」から2カ
月を迎えます。
市では、被災した姉妹都市「石
川県能登町」からの要請を受けて
4回にわたり支援物資を送付（第
2回～4回は経済団体などと合
同）。その他、能登町役場の業務を
支援する職員を継続して派遣して
います。
震度6強を観測した能登町。約
5千棟の住宅が被害を受け、現在
も多くの方が避難所で生活するな
ど、厳しい状況が続いています。
一方で、一時は市内ほぼ全域に
わたっていた断水が少しずつ解消
され、スーパーやコンビニエンス
ストアも営業を再開するなど、少



派遣職員による能登町での業務の様子

しずつ復旧、そして復興への道を
歩み始めています。
市が実施する能登町へのふるさ
と納税の代理寄付や、能登町への
復興支援を目的とした本市へのふ
るさと納税額は、2月15日現在で
8700万円を超えました。
また、被災地を支援するべく、
市内でもさまざまな支援の輪が広
がっています。

2月3日、復興支援を目的にTEN
AMU交流スペースでチャリティ映画
上映会（地域福祉を考える会ハッピー
エイジングプロジェクト主催）が開か
れ、市民など約30人が来場しました。
上映されたのは、能登町のとなり石
川県珠洲市を舞台に、日本最古の方
法で塩づくりに勤しむ職人たちの姿を追
ったドキュメンタリー映画「ひとにぎ
りの塩」（石井かほり監督）。
映画上映後は、「奥能登の海塩」のお
むすびと、熱中食堂（地域食堂）協賛
による豚汁も振る舞われました。

復興支援を目的にしたチャリティ映画上映会

被災地の医療支援のため、市立病院
は医師、看護師、業務調整員の5人で
構成された災害派遣医療チーム（DM
AT）を1月27日から2月3日まで石
川県穴水町に派遣しました。
1月25日の出発式では、派遣者を代
表して遠藤穰治医師が「状況は日々変
わるが、被災者に寄り添うという基本
は変わらない。来てくれて良かったと
言われるよう活動したい」と決意表明。
5人は同町周辺の病院や避難所での
診察・診療を含めた医療支援や、患者
の搬送業務などに従事しました。



市立病院がDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣

